

土浦市港ポンプ場大規模雨水処理施設整備事業

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	雨水を排水する港ポンプ場は昭和63年に供用開始している施設であり老朽化が進行している。適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、計画的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画における対象降雨：46.7mm/hr ・ 目標とする理由：公共下水道事業計画における計画降雨 ・ ハード整備による整備水準の目標：46.7mm/hr <p>② 目標設定</p> <p>i)雨水対策の推進 : 港ポンプ場の機械・電気設備の改築を実施することで、浸水対策の継続及び施設の排水能力の維持を目標とする。</p> <p>ii)その他 : ポンプ施設の改築を計画的に実施する。</p>

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有 (平成 25 年 3 月策定済み)			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	港ポンプ場 機械・電気設備改築 排水能力 282m ³ /分
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	
			下水道管理者以外	
	自助	ハード対策		
		ソフト対策		

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

* 下水道浸水被害軽減総合事業に該当する場合、既存の施設調書を別途添付すること

年度計画（百万円）

名称	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
港ポンプ場	56	471	541	1068
計	56	471	541	1068

備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

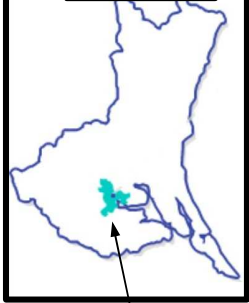
整備済のものは含めない。

項目	内容・施策等
整備効果	・ 供用開始から 35 年以上経過している港ポンプ場について、雨水排水機能を適切に確保する。(ポンプ能力 282 m ³ /分)
放流先河川との調整状況	ポンプの現況能力に変更がないため、対応の必要がありません。
その他	

土浦市港ポンプ場大規模雨水処理施設整備事業

雨水を排水する港ポンプ場は昭和63年より供用開始している施設であり、老朽化が進行している。港ポンプ場設備改築工事により、目標耐用年数を超過した港ポンプ場の機械・電気設備等の改築工事を行い、引き続き雨水排水機能を適切に確保することで浸水被害を防止する。

位置図



土浦市

港ポンプ場



昭和63年 供用開始

事業概要

- 事業内容 : 機械・電気設備の改築
- 全体事業費 : 約1,068百万円
- 事業期間 : 令和7年度～令和9年度

事業の効果

本事業は、ストックマネジメント計画に基づく計画的な改築を実施することで、ライフサイクルの低減と財政負担の平準化を期待できます。

供用開始から35年以上が経過し、老朽化が進行している港ポンプ場について、雨水排水機能を適切に確保し、地域住民の安全な暮らしを守るとともに、浸水被害を未然に防ぎます。

